

燈々会だより



北沢浮遊選鉱場跡

No. 4-1

令和6年3月発行

発行人 青木智子
編集発行 新潟県在宅保健師の会「燈々会」
新潟市南区和泉361-2 ☎(025)373-3967



燈々会活動に参加し交流を深めましょう

会長 青木智子

皆様こんにちは。令和5年度「燈々会」総会で役員改選があり、安達前会長の後を引き継ぐことになりました青木です。安達前会長には6年間にわたり会の活動の推進に大変ご尽力いただきました。これからも背中を押して下さい。

コロナ禍も令和5年5月の感染症法上の5類引き下げに伴い落ち着きを見せ、社会経済活動は日常に回復し、各支部の研修会や事業も対面での実施が再開され、会の平常の活動も戻ってきました。4年ぶりとなる佐渡への研修旅行も無事かつ楽しく行ってきました。行く人、迎える人、それぞれが思いやりであふれ、ふれあうことの幸せをたくさん感じる旅でした。都道府県在宅保健師等会全国連絡会で報告した「島の保健室」の活動を県内の多くの会員が体験することができ感無量です。

近年の高温、豪雨等の異常気象から災害があちこちで起きて支援が求められています。当会でも連絡体系を作成し備えたいと思います。それにつけても従事できる会員がどのくらいいるのかも心配なところ。併せて日頃の会員拡大に向けて取組を進めます。

さて、私たちの「燈々会」は昭和51年6月の結成から47年を迎えました。令和8年には50周年を迎えます。記念行事や、翌年度の記念誌発行に向けて今から準備をしていきたいと考えています。今後ともご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。



令和5年度 新潟県在宅保健師の会「燈々会」総会

令和5年4月26日 於：新潟県自治会館別館

会員数 104名
(令和5年12月末現在)

contents

会長あいさつ……………1頁
令和5年度総会報告等……………2頁
在宅保健師等研修会報告等……………3頁
各支部のとりくみ……………4～7頁

研修旅行……………8頁
新潟県公衆衛看護学校同窓会
閉会記念講演会・県の動き……………9頁
米寿を迎えて・入会しました……………10頁

会員のひろば……………11頁
庶務報告等……………12頁



令和5年度 総会 報告

副会長 若井和美

燈々会総会は、4月26日新潟県自治会館別館で28名が出席し（委任状55名）開催されました。

2人の米寿の祝意を表し、各支部の代理人に記念品の贈呈を行いました。続いて来賓の新潟県国民健康保険団体連合会保健事業課長戸枝芳朗様より祝辞を頂きました。

議長選出後議事に入り、令和4年度事業報告、委員会（編集、推薦）報告、決算と監査報告について承認されました。さらに令和5年度事業計画案、予算案、内規改正案（会員の慶祝、弔慰に関することに追記して会員の罹災時、損害を受けた時に見舞金を贈る）はいずれも承認されました。今年度は任期満了に伴う多くの役員改選となりましたが、推薦委員会の提案のとおり承認されました。

協議事項としてコロナ禍で3年中止していた研修旅行について、新潟第一と佐渡両支部合同で「フレイル予防は私たちから～手始めに佐渡に行こう～」と題してスケジュールが提案されました。最後に新旧役員・支部幹事・委員があいさつをして和やかに閉会しました。

令和5年度 総会来賓挨拶

新潟県国民健康保険団体連合会
保健事業課 課長 戸枝芳朗氏



日頃より、在宅保健師の会「燈々会」の皆様におかれましては、本会の保健事業、また地域住民の健康の保持・増進に貢献されていることに深く敬意を表しますと共に厚く御礼申し上げます。

さて、国は9月に、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針の一部を改正いたしました。このなかで、事業評価の際に用いる指標については、全国の広域連合において総合的な評価指標を設定するほか、各広域連合独自の評価指標を設定して差し支えない等の追記が行われ、事業の評価は、健康・医療情報を活用し費用対効果も考慮しつつ行うこととされました。

一方、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事業評価及び効果検証に取り組む厚生労働科学研究班では、高齢者の保健事業のプログラム改定や第3期データヘルス計画の中間評価に向けた提案を目的に研究を行うとされており、具体的に研究班は、KDB等のデータを活用した事業評価方法や科学的エビデンスの構築を検討することで、広域連合や市町村の事業実施・事業評価の効率化が期待できることや標準的な効果検証方法を提示することで、PDCAサイクルに沿った事業運営を可能にし、一体的実施の更なる推進につながるとしています。

こうしたなか、本会では引き続き様々な専門職や関係団体と連携・協力し、地域全体で予防・健康づくりを進め医療費の適正化や健康寿命の延伸につながる保険者支援を行ってまいります。

「燈々会」会員の皆様におかれましては、地域で暮らす住民の健康づくりに大変重要な役割を担っており、これまで培ってこられた知識や経験を活かし、地域の保健活動に積極的に参画していただくよう、本会としても運営の一助となる支援に努めてまいります。

また、役員をはじめ会員の皆様と連携をはかり、各種研修会の開催や情報提供などを行ってまいりますので引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

最後に、新潟県在宅保健師の会「燈々会」の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

令和5年度在宅保健師等研修会報告

国保連合会
保健事業課 保健係

日時：令和5年4月26日13:00～15:00 会場：新潟県勤労福祉会館 2階研修室

参加者：燈々会会員29名

【講演】「かけがえのない命を救うために～高齢者に多い事故やその予防法、対応について～」講師：新潟市中央消防署職員

ビニール袋や新聞紙などの日用品を用いた実技を交えた参加型の講義となった。また、医療技術・知識が随時更新されている中で、心肺蘇生法などの最新の知識を習得することができた。アンケートからは「対応が具体的でわかりやすかった」「新聞紙やビニール袋の活用法がとても勉強になった」「再確認の場になってよかった」などの声が聞かれた。救護に従事する会員も多いため、今後の活動に活かせる講演だった。



【情報交換】感染予防対策による規制も緩和され、多くの会員にとって数年ぶりに顔を合わせる機会となった。「本当に久しぶりに各地域の方々の意見や情報を、顔を合わせて聞いたり話したりできてとてもよかった」「少しの時間でも元気をもらえていいですね」「地域の課題も見えてきて今後の活動の方向の参考になると思いました」等の感想が聞かれた。また、「無理せず自分のできることを継続することが地区活動につながる」という認識を共有し、それぞれが活動のヒントをもらう機会となっていた。

研修会に参加して 長岡・柏崎・魚沼支部 青木 直子

高齢者に多い事故の予防や対応について、救急車利用の局面からの知見を学びました。令和4年新潟市の救急車出動は42,319件に及び高齢者が64%でトップ。中でも多いのが転倒。次はヒートショック(暖かい部屋から寒い部屋への移動など温度差により不整脈を誘発したり死に至る)の順とのこと。

転倒予防には玄関や廊下の段差に注意し、部屋の整理整頓に努めること。ヒートショックは、新潟市では100件以上発生しており、予防策として入浴時の湯温を41℃以下にし、浴室暖房の使用や食直後、飲酒後の入浴を避けることが大切とのこと。燈々会でも救護の依頼が時折あるので、よい研修でした。

令和5年度東北地方在宅保健師等会連絡会議

国保連合会
保健事業課 保健係

日時：令和5年12月7～8日 会場：青森県東奥日報新町ビル3階New'sホール

参加者：青木会長、若井副会長、石田常任幹事、国保連合会保健事業課 田井

講演①「これからの自殺対策について～コロナ禍で深まった生きづらさを踏まえて～」青森県立保健大学教授 反町吉秀 ②「国民健康保険の動向と在宅保健師等会への期待」国民健康保険中央会
青森県在宅保健師の会の活動報告や他県との情報交換が行われ、今後の活動を考えるよい機会となった。

国保連合会 保健事業課 保健師の紹介

主な業務内容①市町村が行う保健事業の支援 (PDCA サイクルに係る取り組みや実施体制の強化に資するためにニーズに即した支援を実施、KDBシステムを活用して効果的な保健事業が実施できるようにサポート)
②燈々会の皆様への支援 (市町村の地域保健活動が支援できるように研修会の開催、広報誌作成や保健活動意見交換会への支援)



お気軽に話しかけてください。
齋藤(左)・宮川(中)・山城(右)

上越支部

今年度2回の研修を実施。1回目は、6月17日会員11名が参加し支部総会后に「高齢者保健事業と介護予防の一体的実施について」上越市の取り組みの現状・課題を現役の保健師から学びました。詳細な資料をわかりやすく説明いただくとともに、情報交換を行い交流の場ともなりました。2回目は、11月25日ハンセン病の隔離政策の実際を知るため「風の舞」のDVDを視聴。参加者は12名、保健師として公衆衛生分野に携わってきたがこの分野は知らない事が多かった等の感想が出されました。燈々が実施している藤楓協会への寄付の必要性を会員間で再確認するなど学びの多い研修となりました。

長岡・柏崎
魚沼支部

10月7日(土)行政書士坂田晋氏を講師に招き「成年後見制度について」をテーマに研修会を開催しました。テーマは年度当初に会員から要望もあり、ちょうど前年に長岡市健康課の保健師対象に同じ講師のお話を聞いてよかったとのことで紹介してもらいました。会員からは事前の質問も寄せられ、関心の高さがうかがわれました。



成年後見人は、理解力・判断力が乏しい人を助けるために、家庭裁判所が選任する誰でもなれる代理人のこと。私たちも生活や仕事で接する高齢者や認知症の人、また他のいろいろな状況にある人々への支援を考えていくヒントになるとよいと思いました。

新潟第一
支部

7月11日新潟市の高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について研修した。小須戸まちづくりセンターで、秋葉区健康福祉課松田優子係長から健康寿命延伸を目指してのテーマで、秋葉区の実態や事業の説明を受け、モデルハウス「だんだん・嶋岡」を見学した。運営者や参加者のお話を伺い、通いの場としてH26年から関わり合ったその仲間達が現在も続いている。



週2回の開催で、土曜日は子供達も参加している。長く続いているのは支援者の結束が大切で、自分達でプラチナネットワークと名付け、プラチナファームの野菜で、ランチ提供も行っているとのこと。午後は雛の町家見学をした。参加者6名と少なかったが、若い会員の参加で活気があった。

当支部の会員は20名、最大の課題は新規会員の獲得です。この課題について今年度支部で検討会を実施し、研修会でも検討しました。すぐ結果が出るいい案が有るわけではないのですが、今は退職後も常勤で働く人が多く対象者の把握が難しくなっています。地道に声をかけ、

まずは1人でも新規会員の獲得を

会員間で共有しました。また支部総会終了後食事会を実施し、会員間の交流の機会としています。更に今年度の新しい取り組みとして、燈々会の連絡に希望者のみですがライングループの活用を初めています。 (記 五十嵐直子)



今年度は残念ながら、高齢を理由に2名の退会があり21名のスタートとなりました。退職者の情報も会員からもらい、電話や燈々会だよりを配布し加入の勧誘をしましたが加入にはつながらず、課題を残しました。活動の中心は10月の研修会と、2月の健康劇です。

活動の合間に各種団体から救護系の依頼がきます。救護室対応よりも、スポーツやレクリエーションに同行するものが多く、会員自身の安全にも気をつけて無理のないように取り組んでいきたいと思っています。

(記 吉田 佳子)



4年振りの研修旅行実施予定の連絡を頂き、3月から有志で集まり相談を開始した。そんな矢先、現役の地区担当保健師より、認知症予防の健康劇の要望があると打診され、急きょ役者4人のシナリオで4月12日に地区担当と新人保健師も参加して行った。劇終了後、住民から「劇と同じような人がいて、皆で心配している。劇のように家族と話し合いが出来るといい」と、実際に直面している深刻な問題について相談があった。担当保健師が地域の皆さんや地域包括と話し合えるきっかけづくりになった。佐渡研修旅行から帰り、転居する会員と一緒に昼食会と報告会を開いた。

(記 清野智満子)



**新潟第二・
三条支部**

研修のテーマが「自分の体を見つめなおそう」内容は、自分でできる痛み解消法・エゴスキュー体操について、講師のお話と実際に動作の説明を聞いて、一緒に動き、自分の体のゆがみを実感していきました。あまり体力のない人でも実践でき、終わってみると体が軽くなったり、肩のこりがやわらいたり、皆さんに喜ばれました。だれかの「あとは継続だね」の声にしきりにうなずいていました。



当日の参加者は16名で久々に賑やかな研修会になりました。

**新発田・
村上支部**

新発田・村上支部では、行政で働く保健師との交流研修会を新発田市に依頼し、11月15日(水)に開催することができました。

会員の参加は7名。新発田市からは6名の保健師が参加してくださり、市の概要や分野別の業務内容と課題など盛り沢山の内容について説明をしていただき、有意義な時間を過ごすことができました。

参加した会員からは「保健師活動の本質は変わっていないと思うが、対象者である住民のニーズは多様化・複雑化し、時代に合わせて活動を工夫している姿に感銘した」との感想が聞かれました。

一線を退いた私たちに地域の健康づくりのために何ができるのか考える機会にもなりました。



佐渡支部

佐渡支部の今年度のブロック別研修会では、3年ぶりとなる燈々会研修旅行の開催地ということで、有意義な内容にするための企画や役割分担のための会議とし、合計3回にわたって集まりをもちました。おかげさまで恙なく研修旅行を終えることができ、またほっとハウス青木に来て下さった皆様から暖かいお言葉をいただきました。この場をかり



て改めてお礼申し上げます。この後11月8日には令和5年度市町村保健事業従事者研修会のwebサテライト会場となるほっとハウス青木に集まり、みんなで「行動変容を導く“ナッジ”の利いた保健指導」の研修を受けた後、意見交換や現役保健師との交流事業等について話し合いました。

支部総会は6月3日、会員11名の参加でした。今年度は、ブロック研修を2回実施することにしました。地域の茶の間は昨年同様2会場で実施。さらに久々に高齢者擬似体験の声がかり、燕市吉田南小学校3年生3クラスに会員5人が事前に着脱手順を確認してから従事しました。元気な子供達に圧倒され汗だくの日でしたが、パワーをもらいました。10月7日のブロック研修では「痛み解消法」体操で体を動かし、気分までスッキリでした。

今年度は新たに会員1名が増え活動にはずみがつきそうです。

(記 佐藤 史子)



支部会員自身の高齢化や家族の介護で活動に参加できない会員が増え、活動に参加できる会員が限られてきました。そうした現状の中で、これまで積極的に受け入れてきた「栗島浦村の特定健診と結果説明会の支援」について広く村上地域の会員以外の保健師にも声を掛けていくことになりました。活動を共有する中で燈々会の活動を理解してもらえればと思っています。「尿失禁予防」の健康劇を新発田市のときめき週1回クラブ(小舟町)で実施しました。参加者からは「運動を覚えて続けたい」「尿漏れ対策の商品が分かりよかった」などの感想を頂きました。これからも継続して活動していきたいと思います。(記 安達 ミチ)



5年目を迎えた「ほっとハウス青木～島の保健室」ですが、この1年間の状況を見ると利用者数が延べ845名(うち支部メンバースタッフは延べ108名)と昨年並みでした。新型コロナウイルスも5類の扱いになりましたが、利用される方たちは感染予防に努めて新しい生活様式にそって過ごしています。この場を気に入った方たちが毎週土曜日にヨガ教室として利用したり、「足の健康講座」を開催したり、コンサート会場としての利用は2回もあり周知も進んできていると感じています。今後も年度内に支部会員のwebサテライト研修の場や交流の場として活動していきます。(記 土屋貴子)



9月に入っても猛暑が続く12日から13日に実施した研修会（テーマ：フレイル予防は私たちから～手始めに佐渡に行こう～）は、25名が参加しました。担当は、新潟第一支部と佐渡支部で、役割を分担しました。1日目は「ほっとハウス青木」で昼食をとった後、5年目を迎えた茶の間活動へのアイデアとエールを書きました。その後は、トキのテラスと清水寺を見学し、国仲平野のトキに見送られ、海辺の民宿敷島荘に着きました。佐渡の味覚満載の夕食を食べながら、長岡・柏崎支部の劇に大笑いし、寿命の使い方を考え直しました。最後は、みんなで佐渡おけさを踊り、楽しい交流会でした。2日目は、世界遺産に推薦中の佐渡島金山を見学し、両津港で解散しました。

お迎えするにあたり、佐渡を良く知っていただきたく、佐渡特産の手作りみそ汁、見学地の説明案内、トキの折り紙等、会員の得意分野を發揮して協力しました。会員の絆を改めて確認することが出来ました。参加者から頂いたアイデアとエールを力にして、土屋支部長の下、活動を続けていきます。



ほっとハウス青木の前で



長岡・柏崎・魚沼支部の劇

研修旅行に参加して

新発田支部 片原 裕子

世界遺産登録を目指し話題沸騰中の佐渡金山遺跡、「道遊の割戸」「選鉱場跡」の実風景が見たかった。9月だが真夏日、晴天下の割戸も選鉱場跡も共に佐渡の山なみの中で際だっていた。やはり佐渡を代表する風景と納得する。今回、見学場所ごとにそれぞれの会員がガイドに当たられた。新しい発見もあり、景勝地により深い親しみを感じる旅になった。

長岡・柏崎・魚沼支部 柴木 文恵

私達25名はお天気にも恵まれ、佐渡研修旅行を満喫してきました。佐渡支部の運営する「ほっとハウス青木」を見学し、代表の土屋さんの情熱とそれを支えるメンバーのチームワークの良さ、温かい人柄に感激でした。「ハウスがあるから安心して住める。それで人口が増えるのが夢」と言う土屋さんにエールを送ります。佐渡の皆様と田んぼでやっと出会ったトキに感謝したいと思います。



“おいしい”おもてなしに
しあわせ♪



名ガイドの案内



トキに会えた！

新潟県公衆衛生看護学校同窓会閉会記念講演会

ほめる力で社会を変えよう

新潟県公衆衛生看護学校同窓会閉会記念式典が7月8日、新潟グランドホテルで開かれ当会員も参加した。昭和女子大学総長 坂東真理子氏が「人生100年時代の生き方」と題して講演。品格ある女性とは「自分の利益だけを追求せず、周りの人とどう関わるかが大切」と述べた。

要旨(1)過去にとらわれず今やれる事をやる(2)緩やかにつながる人間関係を維持する努力。大事な人をないがしろにしない(3)幸せなお金の使い方を身につける。



記念講演に参加して

上越支部 若井 和美

梅雨空に映える淡緑色の装いで颯爽と登壇された坂東真理子氏は終始にこやかに親しみやすい印象でした。官僚を経て教育者の仕事と子育ての両立でキャリアを積み重ねておられます。またベストセラーの「女性の品格」など多くの執筆もあります。「人生100年時代の生き方」について心のあり方や良い人間関係の作り方、幸せなお金の使い方などの具体的なアドバイスを楽しく聞き、これからの生き方のヒントを得ました。終えること、続けること、始めることの設計をしたいと思います。体のメンテナンスを大切にし、心のしなやかさを求めつつ。

長岡・柏崎・魚沼支部 藤巻真理子

以前から坂東先生とはお名前が一緒に身近に感じていた。『人生100年時代の生き方』のテーマに、自身のこれからの生き方の道標にと参加した。

公衆衛生看護学校や保健師活動を通じて友や地域の人、職場から多くを学び支えられている。坂東先生のお話はそれらを蘇らせ、これからの生き方を授けてくださった。①上機嫌に過ごす②自分の人生を受け入れる③今こそおしゃれ④「キョウヨウ」と「キョウイク」は自分でつくる⑤褒める力で社会を変える。

5か条、忘れないでいたい。



知っ得
情報最新報

県の動き

新潟地域振興局健康福祉部
地域保健課 課長 佐藤 真理子

日頃より、後輩保健師へのご指導、ご支援を賜り感謝申し上げます。

新潟県職員保健師の活動を少しご紹介させていただきます。3年余に及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応は、度重なる感染拡大、次から次へと生じる新たな課題に保健師はそれぞれの立場で自分の役割を果たし乗り越えてきました。令和4年度は高病原性鳥インフルエンザの発生で24時間体制の健康対策の業務等、市町村保健師の協力もいただきながら健康危機に立ち向かいました。

新たな保健師活動として、児童福祉法の改正により児童虐待防止対策の強化を図るため児童相談所に保健師を配置することとなり、令和4年度から中央・長岡・上越児童相談所に保健師が配置され活躍しています。

更にITを活用した保健活動等複雑多様化したニーズに対応していくため様々なスキルや手法が求められ、自己研鑽の必要性を感じるとともに、改めて地区活動、市町村保健師や地域の関係者との関係づくり、連携、協働の必要性を強く感じています。

米寿をお祝いして



上越支部 阿部 カズ

保健婦の仕事をして40年ほどになってしまいました。会には何時も声がけをいただき、この度は米寿のお祝い、大変ありがとうございました。

支部総会の後の会食、自分としては、この頃頭がとろけてきた感じなのですが、現役時代のこと、この頃のこと、皆さんのお話から沢山の元気をいただきました。良い一日をありがとうございました。

特に役員の皆様、準備・当日の運営お疲れさまでした。



新発田・村上支部 齋藤 シュエ

「禍福は、糾える縄の如し」と精神科医高橋祥友氏が平成15年8月24日に述べております。令和5年9月

29日に保健師の安達さんと戸根さんが訪問され、作文の依頼を受けました。振り返ってみると私の人生はまさにこのことわざの通りだと思いました。

米寿を迎えましたが、まだまだ続くと思う物価高と付き合っ生活しなければなりません。明日からは気持ちをしっかり持ち、新しいセンスをもって、子供たちの母として生き続けたいと存じます。

私の母と夫の母、二人の母を偲び、育てて戴いたことを深く感謝して、ベストをつくしたい！

入会しました よろしくお願ひします



新潟第二・三条支部 霜鳥 正美

最近“年のせい”と言いかけて何事にも甘えがちの私です。そんな考えをすこし変えたくて、何かにチャレンジしてみようと思っています。燈々会入会もその一つです。

現在、仕事といえば保健センターの仕事を少しだけ。あとは自分の時間。最近は外出や友人との交流も少しずつ増えています。今がチャンス。私に出来ること“年のせい”にしないで見つけて行きます。よろしくお願ひします。



佐渡支部 猪股 和実

36年間勤務した職場を退職し、今度は自分の時間を楽しむぞ！と思っていたのも束の間、産休職員の代替として働くことになりました。新しい職場での仕事は、その内容も体験も学ぶことが多く、新しい人との出会いも楽しいものになっています。生涯現役とはいきませんが、保健師として息の長い活動が出来たら良いと思っています。

自身の趣味の時間や旅行、そして、皆様との活動も楽しみです。どうぞよろしくお願ひします。

◆ 燈々会に入って一緒に活動しましょう！ ◆

- ・あなたは人生を十分に楽しんでいますか？
- ・自分の力を社会のために役立てていますか？
- ・家族以外の人と交流を楽しむことがよくありますか？

入会すると、役員など負担が大きいのでは？
・活動は時々で、楽しみでもあります。

利点は何ですか？
・市町村の保健師や住民との出会いがあり、人との交際範囲が広がります。

新潟県在宅保健師の会「燈々会」
新会員 大募集

「燈々会」は、昭和51年6月20日に設立した、新潟県内に住む在宅保健師の集まりです。
保健師のOBとして、経験と知識を活かし、地域の健康づくりのために県内各地で数多く活躍されています。
現在活躍している先輩の地域の一員として活躍できるチャンスがあります。
新潟県在宅保健師の会「燈々会」の活動と一緒に参加しませんか？

主な活動

- ◎市町村等保健活動への協力
- ◎地域保健福祉ボランティア
- ◎他団体との協力事業
- ◎充実した各種研修の受講
- ◎会員同士の懇話（おたのしみ会）、研修旅行 などなど

年費費：4000円

あなたの入会をお待ちしております

問合せ・申込み先： 窓口
新潟県在宅保健師の会「燈々会」 支部幹事：
◎ 名 青木 智子 連絡先： 2023.12.18



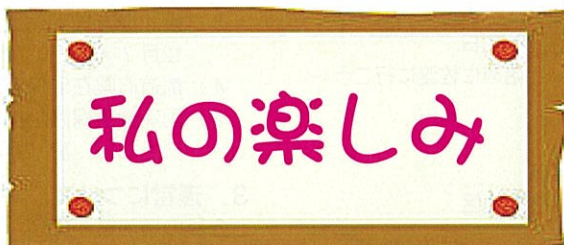
会員募集のちらしを作成しました。各支部幹事に配布しますので活用してください。

【会員のひろば】



新潟第一支部 加藤 隆子

私の今の楽しみは、「旅」「温泉」である。温泉も「秘湯の露天風呂」。雄大な自然に囲まれ湯の中で自分自身が自然と一体に。何よりも至福の時間。心身ともに喜びに満ち溢れるひとときです。また、日課の中でストレッチ等実施している。それは、私の楽しみ「秘湯の旅」に行く為である。好きな事ができるのは、健康に育ててくれたからこそであり、親に感謝しながら、今を大切に生きている。



上越支部 小林 恵子

毎月届く観光パンフレットを楽しみにしている。50歳頃には、主にヨーロッパの世界遺産めぐりをした。ローマの遺跡もモンサンミッシェルの高い城にも苦もなく歩いていった。70歳になったら、国内旅行を楽しもうと思っていた。今、76歳になりバスツアーのお得意様になっている。そのためにスポーツジムに通っているが、膝関節炎の医者からは、「あまりジム通いは頑張るな」と言われている。

新潟第一支部 清野智満子



令和4年研修会の時、佐渡支部幹事の土屋さんと県庁18階の展望台で昼食を食べていた折、彼女が来年看護学生にヘルスプロモーションの講義をする事になったと言う。私が38年間の仕事の中で最も感動した出来事で、岩永先生の地域づくり型保健活動と出会い、一緒に取り組んだ目黒保健師と地区活動が出来た事を思い出した。看護学生が彼女の活動や思いを、どんな感想を持つか楽しみである。



長岡・柏崎・魚沼支部 中嶋 静代

私の手仕事に梅干しと味噌の仕込み作業があります。30年以上は続いているでしょうか。10%の減塩梅干しは孫の口にも合うらしく「色々食べてみたけどおばあちゃんのが一番」とやる気にさせてくれます。味噌は糴作りから始まり、三日間加工所で仲間と共に汗を長し家の蔵で熟成させ完成!!地元産の米と豆に手の温もりが拘りで毎年待っててくれる人達の笑顔を開き合いに楽しんで作っています。



新潟第二・三条支部 目黒 恵子

沢山ありますが、一部を紹介したいと思います。

◎マジックとけん玉 サークルで教えてもらっていますが、さっぱり上達しません。習ったあとから忘れていきます。楽しみながらのボケ防止です。時々仲間と、高齢者施設の楽しみ会に参加します。

◎曹洞宗のご詠歌と坐禅 心が落ち着いて癒しの別世界です。お寺の行事でご詠歌をお唱えして法話を聴くのは、心を豊かにしてくれる何よりの楽しみです。



1. 会議

- (1) 総会 4月26日 於 新潟県自治会館別館
28人出席 (委任状55人)
- (2) 役員会 6月13日、7月19日、10月16日、12月4日、2月14日
3月25日
- (3) 幹事会 7月19日(第1回保健活動意見交換会)
12月4日(第2回保健活動意見交換会)
- (4) 編集委員会 6月28日、8月29日、10月30日、12月12日、
1月30日
- (5) 推薦委員会 12月5日

2. 事業

- (1) 事業関係
 - 1) 記念講演会 国保在宅保健師等研修会
 - 2) 研修会
 - ・会員の親睦を兼ねた研修旅行 9月12・13日
テーマ：フレイル予防は私たちから～手始めに佐渡に行こう～
担当：新潟第一支部・佐渡支部
参加人数：25名
 - ・ブロック別研修会 6ブロックで実施
- 3) 高齢者ふれあい事業：令和5年度実施4地区

支部	名称(申請者)	支部	名称(申請者)
長岡・柏崎・魚沼	いきいきクラブ(谷崎)	新潟第二・三条	宮の原けやきサロン(小林)
新潟第二・三条	生き生きついたちの会(阿部)	佐渡	ほっとハウス青木(土屋)

(2) 協力関係

- 1) 県民介護知識・技術習得講座への協力
 - 6月16日 目黒節子(新潟第一)
 - 10月27日 石川玲子(新潟第二・三条)
- 2) 第28回にいがたねんりんピック救護への協力(種目毎)
 - 5月7日 バウンドテニス：吉田増美(新潟第二・三条)
 - 5月7日 ソフトボール：神保由実子(長岡・柏崎・魚沼)
 - 5月13日 ソフトボール：石川玲子(新潟第二・三条)
 - 5月25日 ゲートボール：有本純子(～15時)
青木智子(15時～)(新潟第二・三条)
 - 5月28日 卓球：石田奈津子(新潟第二・三条)
 - 5月28日 ソフトテニス：加藤隆子(新潟第一)
 - 6月4日 ペタンク：藤巻真理子(長岡・柏崎・魚沼)
- 3) 粟島浦村特定健診等業務への協力
 - *健康フェスティバル&特定健診：5月18・19日
4名(安達ミチ・近百合・塚野郁子・戸根節子)
 - *結果説明会：7月6・7日
4名(青木智子・安達ミチ・石田奈津子・戸根節子)
- 4) ハンセン病療養所施設訪問
施設訪問10月23日 群馬県草津町 栗生楽泉園 青木会長
- 5) 新潟県藤楓協会総会 書面総会
DVDドキュメンタリー映画「風の舞」の紹介
支部活動での利用を周知：11月25日上越支部で利用
- 6) 結核予防協会事業への協力(複十字封筒・シール)
- 7) 新潟県看護連盟通常総会
6月24日 新潟東映ホテルにて開催 青木会長出席
- 8) 国民健康保険中央会実施
「都道府県在宅保健師等会に係る調査」7月
- (3) 会員の福祉
令和5年度入会(2名)
新潟第二・三条：霜鳥正美
佐渡：猪股和実

昨年度・今年度退会(6名)

- 上越：歌川孝子(R5.3末退会)
- 長岡・柏崎・魚沼：富所和代(R5.3末退会)佐藤幸子(R5.3末退会)
小林和子(R5.7未死亡)
- 新潟第一：徳橋楯(R5.3末退会)
- 新潟第二・三条：桑原信子(R5.3末退会)

米寿の方への慶祝

- 上越：阿部カズ姉(S11.1生まれ)
- 新発田・村上：斎藤シュエ姉(S11.3生まれ)

(4) 「燈々会だより」

第41号は令和6年3月発行

(5) 新潟県国民健康保険団体連合会主催の研修会・講習会に積極的参加

- 1) 新潟県在宅保健師等研修会
4月26日 於 新潟県勤労福祉会館
- 2) 市町村保健事業従事者研修会
11月8日 於 新潟県自治会館別館
- 3) 東北地方在宅保健師等会連絡会議
12月7・8日 於 青森県
- 4) 都道府県在宅保健師等会全国連絡会(国保中央会主催)
- 5) 国民健康保険診療施設協議会医療セミナー
11月25日 於 ガレソンホール(新潟市)

3. 運営について

会員の増加策が課題

会員数 令和5年12月末現在 104名(うち10条会員4名)

令和5年度 役員・支部幹事・委員名簿

◇役員

会長	青木 智子(新)	
副会長	若井 和美(新)	戸根 節子(新)
常任幹事	石田奈津子(新)	
会計	井倉久美子(新)	
監事	清野智満子	笠原 孝子

◇支部幹事

上越	五十嵐直子(新)
長岡・柏崎・魚沼	吉田 佳子(新)
新潟第一	清野智満子
新潟第二・三条	佐藤 史子
新発田・村上	安達 ミチ(新)
佐渡	土屋 貴子

◇編集委員

委員長	塚野 郁子
委員	大橋 芳子 清水 明子

◇推薦委員

委員長	柴木 文恵
委員	関 厚子(新) 土屋 貴子(新)

お
く
や
み

謹んでご冥福をお祈りいたします

●長岡・柏崎・魚沼支部 小林 和子 姉

令和5年7月30日逝去

編集後記

多くの皆様のご協力で、燈々会だより第41号が完成しました。ありがとうございました。今年はやっと再開された研修旅行の記事も載せることができました。行動制限を経てステップアップしたはずの誌面はいかがでしたか？

(編集委員 清水 明子)